

平成 30 年度 事業報告書

1. 概況

景気回復の長期化の要因としては、企業収益が大企業だけでなく中小企業でも改善していることや交易条件の改善により国民所得も改善が続いていること、さらには雇用環境の改善も寄与している。また、これまでの景気回復期にはその恩恵が届きにくかった中小企業や地方経済まで及びつつあることが挙げられる。この背景の一つには、訪日外国人の増加の影響もあると考えられる。なお、景気回復長期化もあり相対的貧困率や子どもの貧困率が低下するなど、子育て家庭などの雇用・所得環境も着実に改善している。また、長期的に低下傾向が続いていた潜在成長率も、今回の回復局面では上昇に転じている。ただし、潜在成長率は依然として低い水準であるため、少子化により生産年齢人口が減少する中、今後も生産性向上などが重要であります。

本町は、農・漁業及び観光業が盛んで、定年の無い業種の担い手となっている方が多くみられるため、会員の働く場が限られています。特に、公共施設の管理業務は多くの会員が望んでいます。

近年急速な人口流出による人口減少のため、60歳以上の人口比率が昨年度43.5%より0.9ポイント上昇し44.4%となり、地域の担い手としてこれまでに培った高年齢者の知識と経験を活かすことが期待されている方の会員加入は、昨年度より23人（男13人、女10人）増加し、142人（男99人、女43人）となりました。

また、経常収益は、前年度比871万円増収の58,358,476円で、主な増収科目は受託事業収益920万円、主な減収科目は県及び町の補助金53万円となりました。経常費用では、前年度比993万円増額の58,839,407円で、主な増額科目は支払配分金845万円、支払材料費等40万円、給料手当45万円及び消耗品費19万円の増額でありました。

地域からシルバー人材センターへの期待が一層高まるよう会員一人一人の活動やボランティア活動を通して、その役割と活動を広く町民に理解してもらえよう、会員と役員が一体となり、活力ある地域社会づくりに貢献できるセンターを目標に事業を推進して来ました。

(1) シルバー人材センター事業

① 就業受注事業

就業を希望する就業の機会を確保し提供しました。また、家事支援事業は高齢者世帯などの日常生活の応援を今後も支援していきます。

② 各種研修会・講習会、職群班研修事業

センター事業を円滑に実施するため、役員及び会員を対象とした各種研修会などに参加し、資質の向上を図りました。

③ 安全・適正就業対策事業

事業の実施に当たり、会員の安全かつ適正な就業を行うため、安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るため安全委員会

を開催し協議しました。

④ 普及啓発事業

シルバー通信の年 2 回発行し、会員及び各種団体に広く周知し会員を募りました。

⑤ 調査研究事業

シルバー人材センター事業発展のため、バスの中で会員研修を実施し、豊川市（豊川稲荷「妙巖寺」）、蒲郡市（蒲郡オレンジパーク）で視察研修を行い 34 名の参加があり、会員相互の親睦を図りました。

(2) 実施報告

① 運営体制の整備と強化

会員主体のセンター運営を目指しました。

② 会員の自主運営体制の強化

会員自身が、センター事業の基本的な理念及び仕事の仕組みを理解し、事業に取り組む体制づくり継続してきました。

③ 会員の加入促進

会員募集の拡充及び普及啓発を継続して行っています。

④ 就業機会確保普及啓発の推進

シルバー通信の年 2 回発行と啓発用チラシを作成し、情報の発信に努めました。

⑤ 安全就業・適正就業

会員の就業中及び就業途中の事故防止に一層努めるため、安全委員会を開催し、安全就業対策に努めました。

⑥ 会員の意識改革

シルバー人材センター事業が、地域住民から認められるように、ボランティア活動で会員 14 名が参加し、南知多 J A 会館付近の草刈及び剪定を実施しました。

⑦ 職業紹介事業の推進

県連合と連携し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、職業紹介事業を実施しました。

⑧ 公益社団法人としての適正な運営

公益社団法人として、適正な法人運営を図りました。

⑨ 会員表彰（定時総会表彰）

会員就業規約に基づき会員を表彰

第 10 条第 1 号該当 表彰状（10 年連続就業） 7 名

第 10 条第 2 号該当 感謝状（役員 4 年以上） 1 名

⑩ 会員研修会の参加

知多ブロック会員交流会（大府市） 4 名

知多ブロック会員講習会（美浜町） 2 名

新任会員理事研修会（名古屋市） 1 名